

第25期選考委員会（第29回）議事要旨

日 時 令和5年5月8日（月） 18:00～20:10

場 所 日本学術会議会長室及びオンライン開催

出席者 梶田隆章委員長、望月眞弓副委員長、橋本伸也幹事、吉村忍幹事、菱田公一委員、高村ゆかり委員、溝端佐登史委員、小林傳司委員、日比谷潤子委員、武田洋幸委員、丹下健委員、尾崎紀夫委員、神田玲子委員、米田雅子委員、沖大幹委員、北川尚美委員

（欠席） なし

（事務局） 三上局長、熊谷次長、上村企画課長

【審議内容等】

○選考委員会議事要旨（案）（第27, 28回）について

- ・ 前回の議事要旨（資料1）について確認を行い、了承を得た。

○会員候補者となるべき者（選考委員会枠）等の選考について

- ・ 望月副委員長より配布資料（資料2－1）に基づき、選考委員会枠の会員候補者となるべき者（補欠を含む）について説明を行い、続いて事務局より配布資料（資料2－2）に基づき補足説明を行った、
- ・ 事務局より、配布資料（資料2－1、資料3）について、「実務分野」についての作業を依頼した。
- ・ 選考委員会枠の会員候補者となるべき者及び補欠の会員候補者となるべき者について、資料のとおり確認をした。
- ・ 資料3の選考理由等について意見等があれば19日までに事務局に連絡することとした。
- ・ 本日の了承を得た選考委員会枠の会員候補者となるべき者及び既に了承を得た選考分科会枠の会員候補者となるべき者（資料3）について、事務局より事務的に就任意思を確認することとした。
- ・ 本人から辞退する申し出があった場合には、委員長、副委員長と関連する部長が協議をして、補欠の候補者から補充し、改めて選考委員会了承を得ることとした。

○連携会員候補者の選出人数等について

- ・ 事務局より配布資料（資料4）に基づき、分科会ごとの連携会員候補者の選出人数について説明を行った。
- ・ ジェンダーバランスについて、地域分布等も考慮しなければならないため、分科会ごとに女性の選出数を明示することは避けた方が良いとの意見があった。一方で、指標となる数値は記載すべきだとの意見があり、最終的に、「25期当初の女性会員の割合（37.7%）と同程度又はそれ以上の割合を達成するよう努力する」という記載に修正することとした。
また、専門分野によっては目標とする割合を満たすことが困難な場合も考えられるこ

とから、分科会ごとに選出する女性人数の下限等は示さないこととした。

- ・続けて、事務局より配布資料（資料５）に基づき、選考委員会枠に係る連携会員候補者となるべき者の選考方法について説明を行った。
- ・選考委員会委員が選考委員会に推薦することができる連携会員候補者となるべき者の人数は、５名以内とすることとした。

以 上